

町民の皆様にはご健勝にてさわやかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、常日頃から町政に対する深いご理解とご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、1月の町議会選挙で幕を開け、合併10周年記念式典と記念事業、ギネス記録認定となったJCによるバウムクーヘンづくり、福岡県植樹祭の本町での開催、県道77号線（通称山麓線）の全線開通、多目的運動公園の一部開園、ラジオ体操・ウォーキング普及推進事業開始、防災行政無線戸別受信機設置事業開始、ど〜んとかがし祭における巨大イノシシかがしの創作、戦後70年による大刀洗平和記念館来館者の増加、みなみの里来館者数500万人達成、そして筑前町総合戦略の策定など、記念すべき、また地方創生に向け一步前進した1年であったと思います。これも住民の皆様、議会、職員の想いが一つとなり、起こした行動の成果と思うところです。

このような平成27年を踏まえ、平成28年は改めて人口問題が注目される年になりそうです。国勢調査の人口数値が公表され、人口減少、少子高齢化の対策が待ったなしの年になります。そのような時代だからこそ、将来の筑前町の人口予測を踏まえて皆で知恵を絞って策定した地方創生筑前町総合戦略に基づき、攻めのまちづくりを推進していかなければならないと考えています。

昨年土を耕し、種を蒔いたものの一部を紹介しますと、本町南部への食品産業誘致、北部の木質バイオマス事業誘致、山麓部の道の駅認定とみなみの里の拡充、西部の保育所建設、大刀洗平和記念館の拡充、筑前町教育支援大綱の策定など、昨年蒔いた種を今年は芽吹かせ育てる年になろうかと思えます。基本は民間活力を活用しながら雇用を創出し、町の活性化と財源拡充を図り地方を創生しようとするものです。これらの施策を推進し、「ピンチはチャンス」、「なせば成る」を合言葉に、より一層筑前町を活力のある町にしていきたいと考えています。

結びに本年が皆様方にとりまして実り多い一年でありますよう、ご祈念申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。

筑前町長 田頭 喜久己